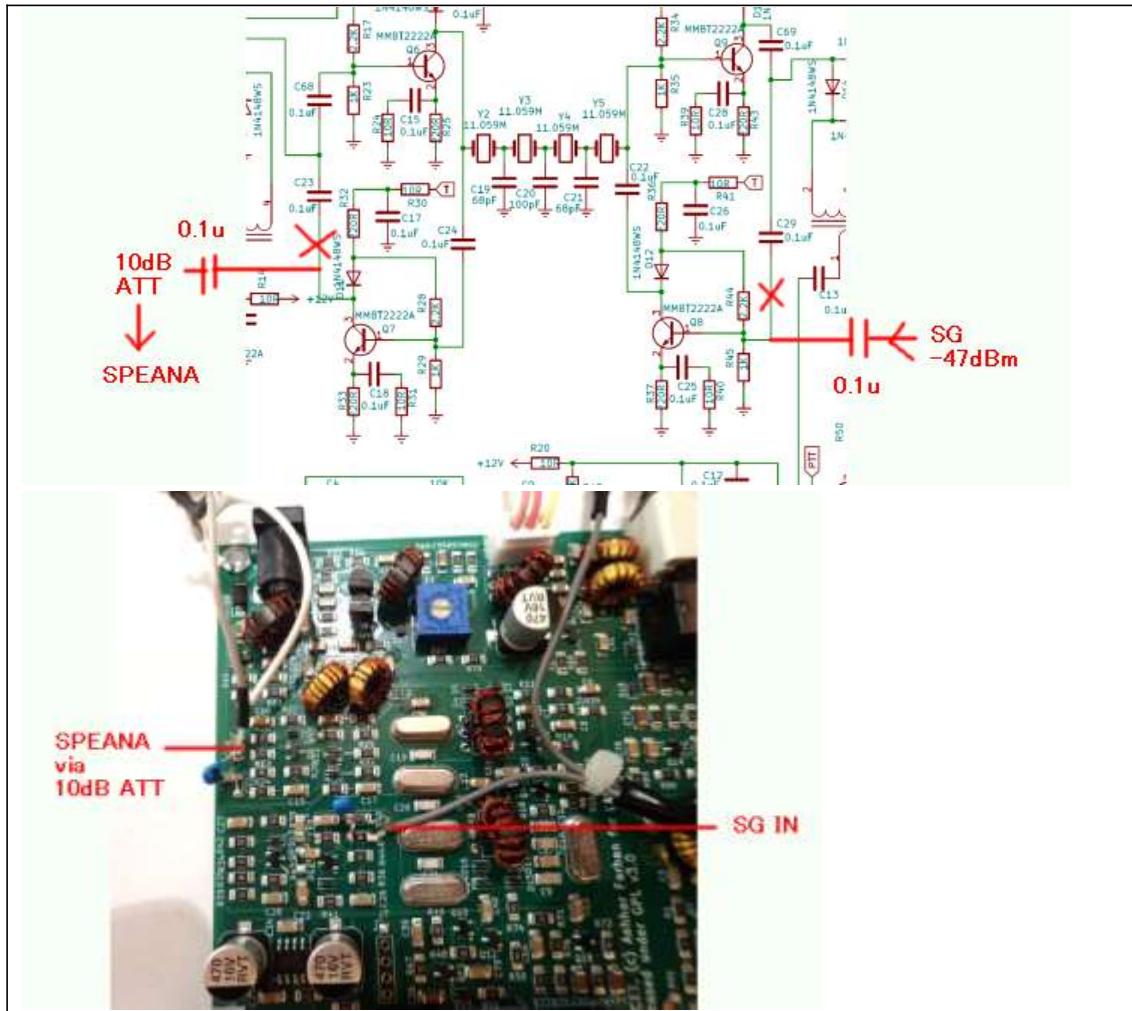


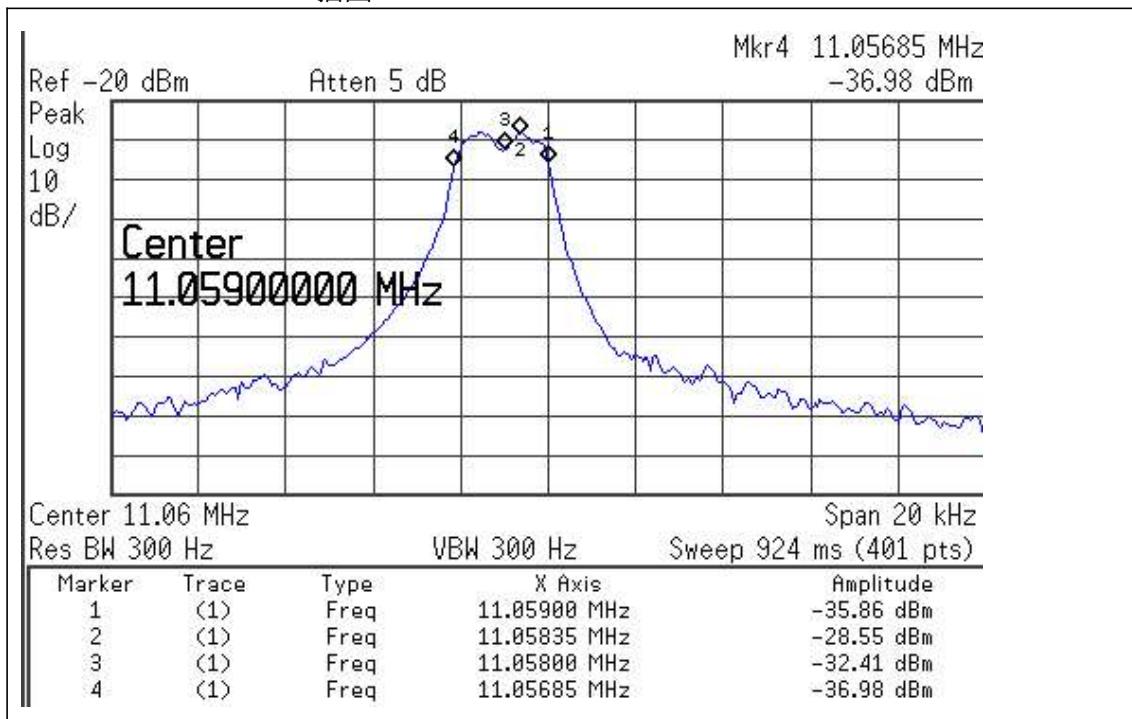
## LARCSet XTAL filter 特性確認

2026/2/9

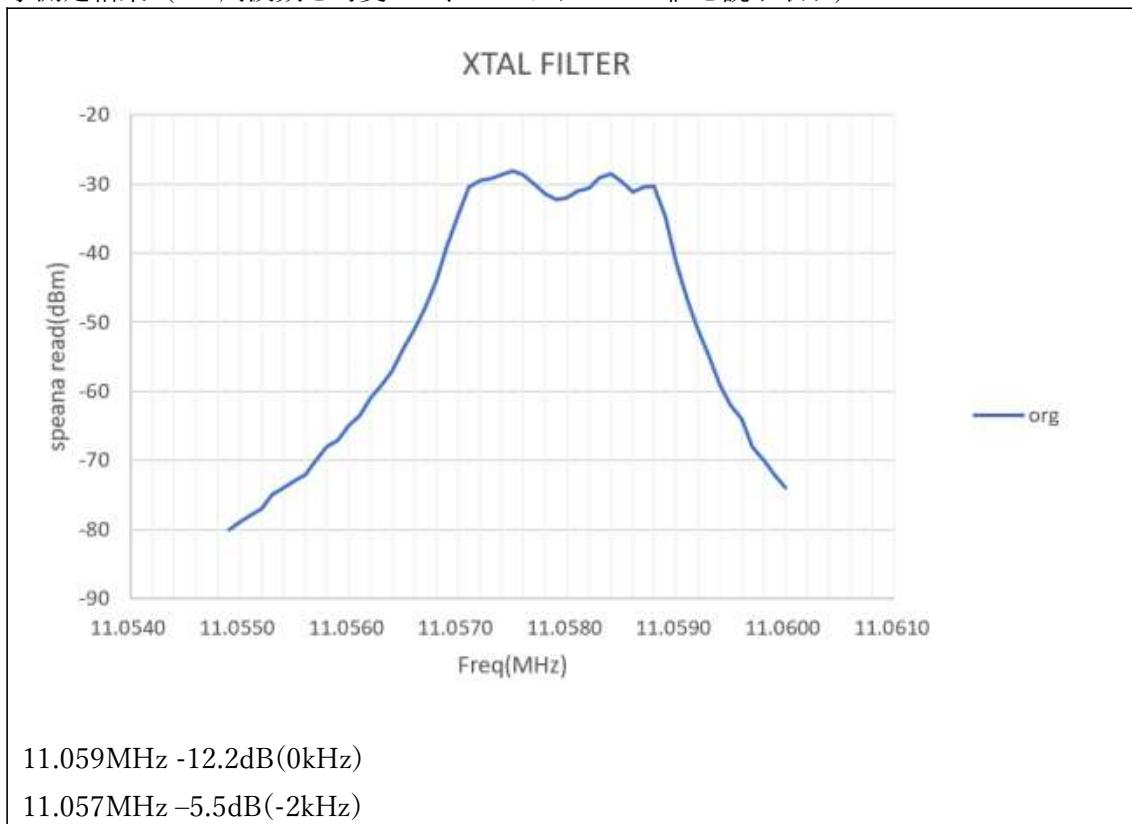
以下にて確認（送信状態にて測定）



SPEANNA にて Max Hold 描画

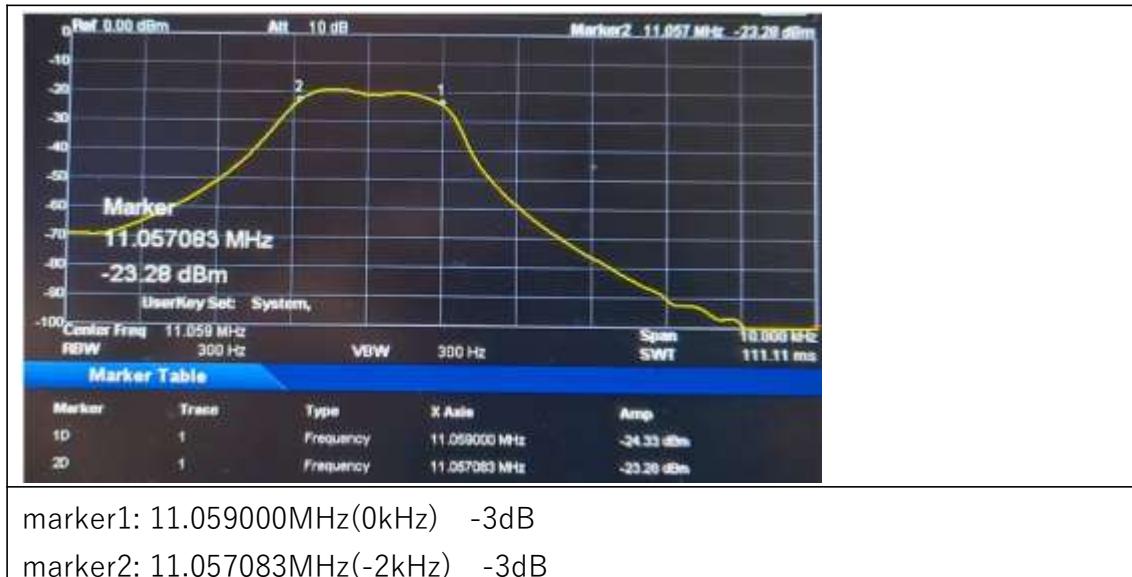


手測定結果 (SG 周波数を可変して、スペアナピーク値を読み取り)





### Manual での表記

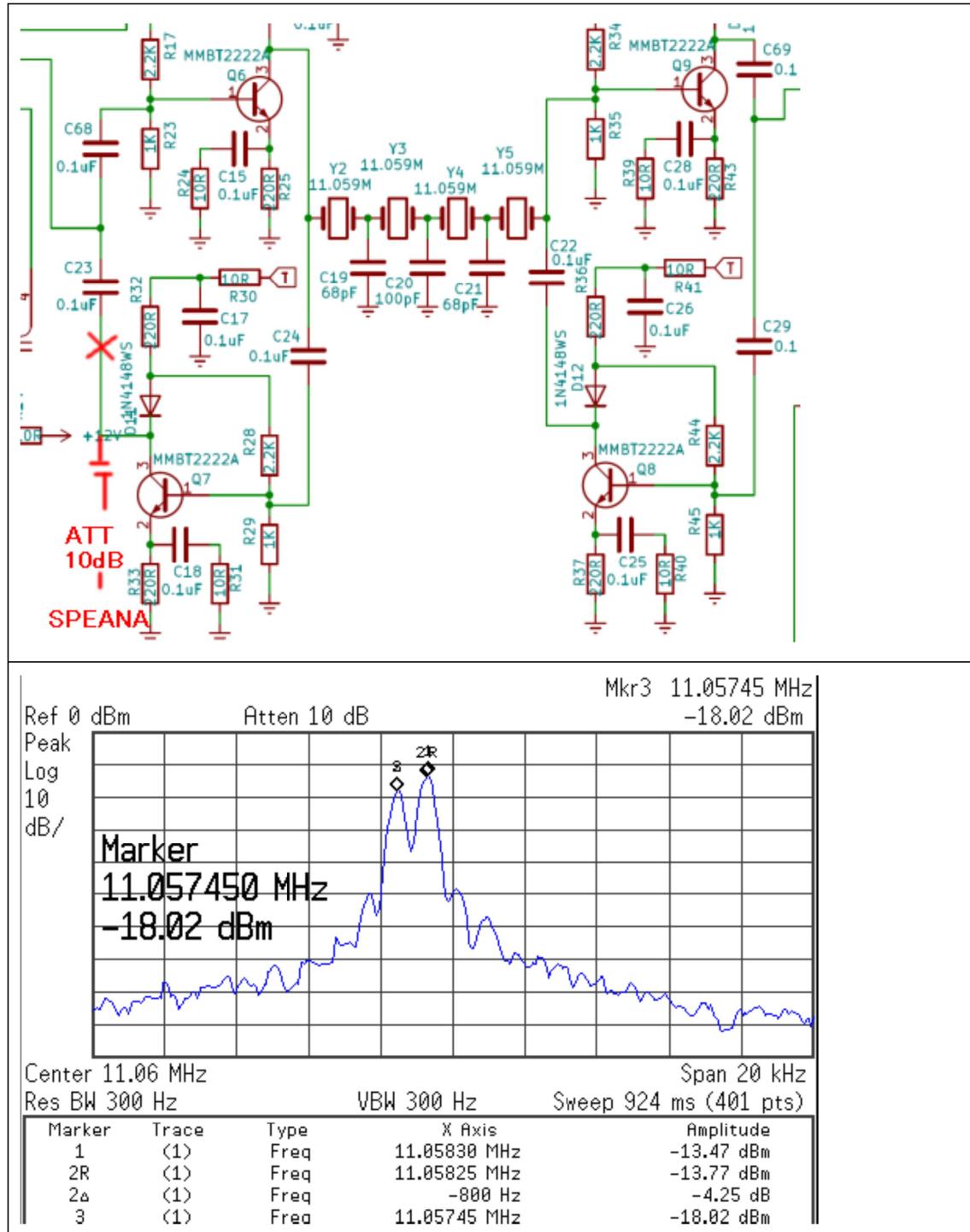


### 比較

	Manual 表記	今回測定
11.059MHz	-3dB	-12.2dB
11.057MHz(-2kHz)	-3dB	-5.5dB
センター周波数	11.058MHz	11.058MHz

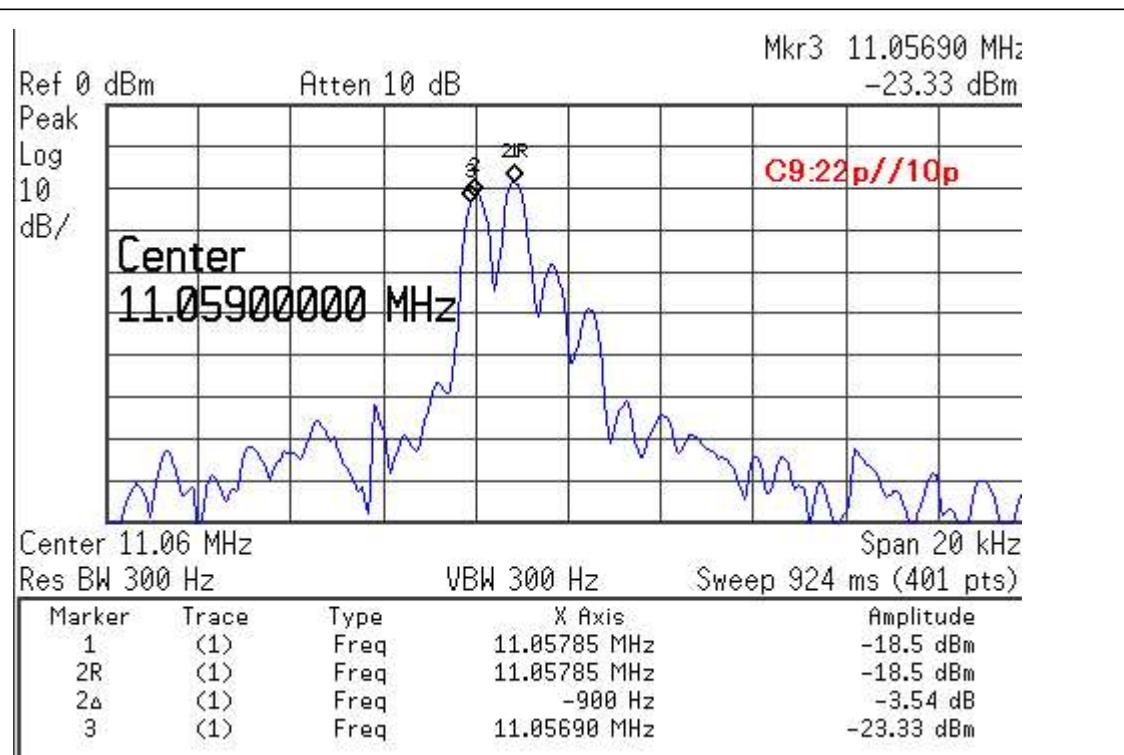
Manual と大体同じ特性と思われます。

LOCAL 接続にて確認



800Hz 下側を送信し、上側をカットすればいいのかと考えます。

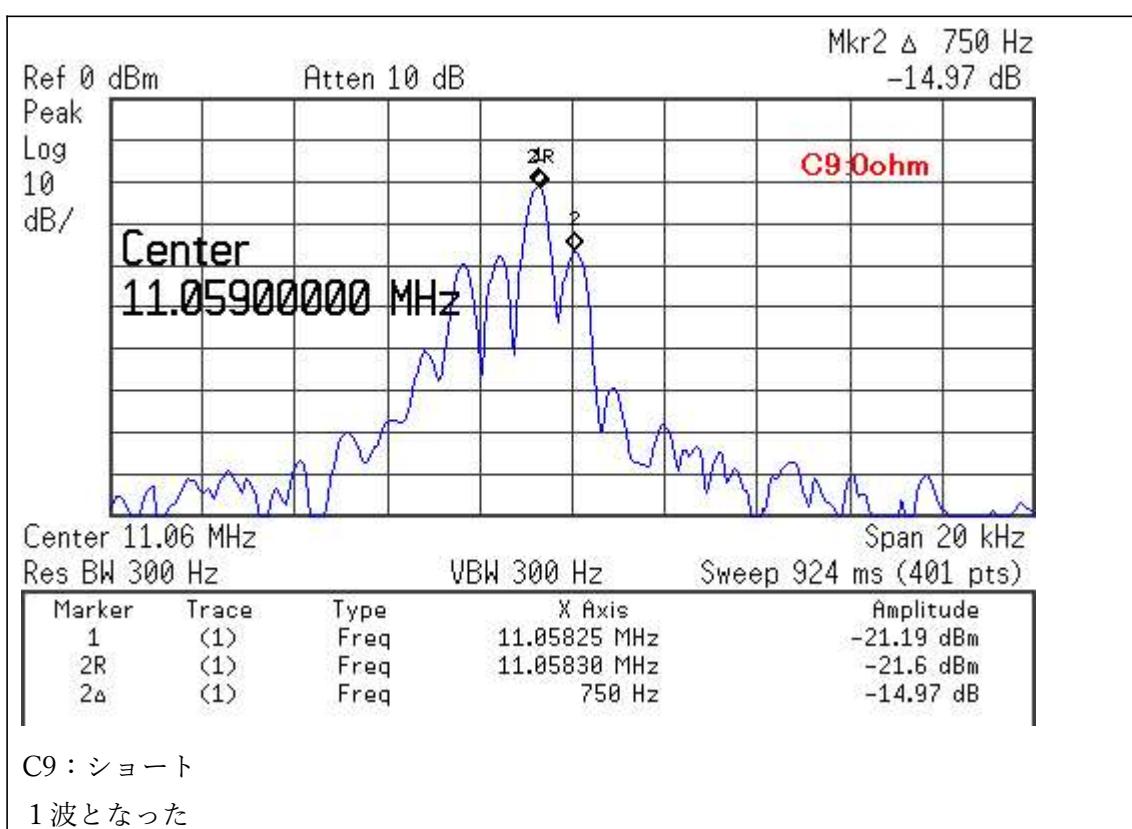
となると、ローカル周波数(11.059MHz 設計値、実測 11.0583MHz)を上にずらせばいいのではないかと。



C9:22pF 上載せ 10pF では、周波数は下がるのみ。

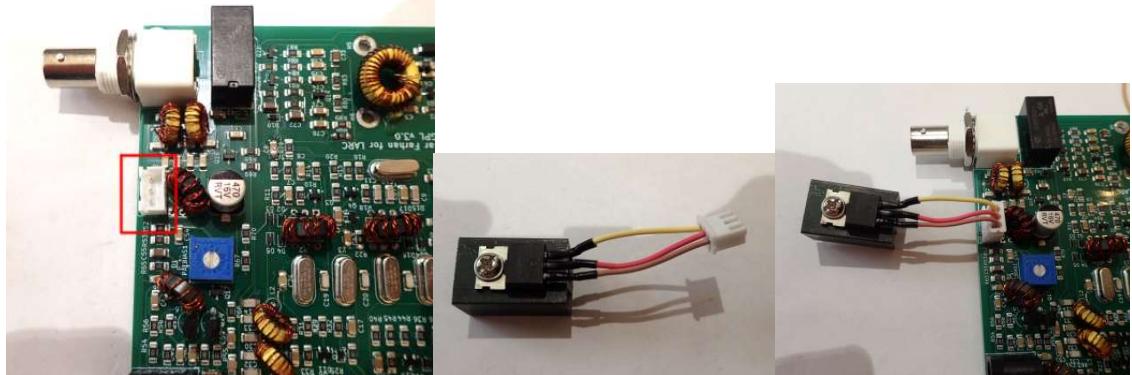


C9:10pF 周波数はほとんど上がらず



## 参考情報

カットアンドトライを行うにあたり、PA放熱とFETが当たってしまいFET根本から折れそうなので、以下改造にしました。



XHコネクタを使い分離配置